

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き 壁付

※台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること
 ※台座のサイズは幅 600 × 奥行 400 × 高さ 1000mm 以内

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



作品の説明

台座の上に御影石で川の流を表現したパーツを配置し、それが背面の壁にもたれかかるような形で設置します。その上に亀のパーツを乗せ、さらに壁面にはレリーフ状に彫刻した桜を取り付けます。この作品は、台座に置いて展示する方法と壁に掛けて展示する方法の二通りを想定しており、立体的な構成から流れるようにレリーフの桜へと視線が導かれる点が大きな見所となっています。

本作品は、3つのパーツで構成されています。それぞれの素材とモチーフは以下の通りです。

- 黒色の御影石 川と桜の枝を表現
- 桜色の大理石 桜の花びらを表現
- 灰色の大理石 亀を表現



使用する御影石および大理石は、いずれも耐久性に優れており、長期間にわたり風化や劣化の心配が少ない素材です。また、壁面への設置方法については、大理石に専用の金具を打ち込み、それを壁側の金具に確実に掛ける構造を採用しています。作品の厚みは1.5~2.5cmを想定しています。台座置きパーツは下面に穴をあけボルトを入れることにより台座とパーツを固定しようと考えています。桜の枝と花びら、川と亀のパーツもそれぞれに穴をあけ中に鉄の棒を入れ接着することにより一体化させます。このそれぞれの方法により、地震などの災害時においても落下リスクを極力抑えることが可能です。また、本作品は壁面のサイドカラーと黒御影石の色調を調和させており、場所に馴染みアクセントとして取り入れた桜色の大理石が、全体に上品さと柔らかな印象を添えています。

作品名	舞い		
素材	石	想定重量	90 kg
作品サイズ	横幅 900 × 奥行き 370 × 高さ 800	(単位: mm)	

作品コンセプト

目黒区には区内でも有数の桜の名所があり、目黒川沿いに咲き誇る桜は目黒区に春の訪れを知らせ私たちの心に深い心地よさを感じさせてくれます。しかし、こんなにも美しい桜は短期間しか見ることができません。そのため私は今回この作品で目黒川に咲く「桜」と水面を悠々と泳ぎ、縁起が良い生き物と言われる「亀」をモチーフに大理石を二種類、御影石を一種類の合計三種類の石を用いて作品を制作したいと考えました。

桜は当然生き物であり花なので散ってしまいます。それは生命の美しさ、儚さを体現しているとも言えるでしょう。しかし、観覧者からすれば花見における一番ネックな部分にもなりえます。この作品は石で制作予定なので桜の美しさを一年中楽しむことができます。そして亀は長寿の象徴であり、縁起の良い生き物です。このマンションにこれから住まう人々が健康で心地よく長生きできるようにと思いを込め、作品に入れようと考えました。

過去の制作作品

